

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	八王子市立みなみ野保育園
-----	--------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

昨年度から継続して畑やプランターで野菜を育てている。新たに育ててみたい野菜を追加し、3クラス合同で土づくりを行った。こどもたちの手で苗や種を植え、自主的に水やりを行っている。花が咲いたり、実がついたりする様子に気づき関心をもつ姿がある。草むしりなどを行っていく中で、虫の存在にも注目する子がいる。野菜を育てていく中で、生長の様子や食育への興味関心を深める。
--

2. 活動スケジュール

4月中旬	土づくり、さつま芋などを畑に植える
------	-------------------

	畑の中にいる幼虫やダンゴ虫に気づき、飼育ケースを用意し飼育を始める 給食の食材で使用するキャベツにカタツムリがついており、育て始める（3歳児クラス）
--	---

8月	成長した幼虫が蛾になり園庭に放つ（5歳児クラス）
----	--------------------------

10月上旬	さつま芋掘り、冬野菜へ向けて土づくり（コンポスト活用）
-------	-----------------------------

10月中旬	里芋掘り、冬野菜の植え
-------	-------------

2月中旬	冬野菜の収穫
------	--------

3月	カタツムリを公園に放す（3歳児クラス）
----	---------------------

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カメラ、SDカード、インク、写真、飼育ケース、支柱、寒冷紗、スコップ、プランター、マッキー、両面テープ、画用紙、顕微鏡

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

こどもたちが鍬やスコップを実際に持ち、土づくりや自主的に水やりを行っている。保育者が草むしりや肥料やりを行っている、興味をもって一緒に取り組む姿がある。畑に触れることで虫を見たり触れたりする機会も多く、興味を持った子が中心に各クラスでダンゴムシや幼虫を飼育ケースで育て始める。図鑑などで育て方や虫の種類を調べたり、顕微鏡で観察してみたり、虫の成長や死を間近で感じる姿があった。また、成長した虫たちをどうするか決め、園庭や公園に放つ経験を積んだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【5歳児クラス】畑の活動を通して自然と虫に触れる機会が多く、虫を見つけると「何の虫だろう」と考える姿がある。飼育ケースを用意すると実際に育ててみて観察し、図鑑などで種類を調べる。こどもたちが自主的に捕まえた幼虫を調べ始める。図鑑には多くの種類が記載されており、正確な虫の種類を特定するのが難しかったが、何となく似ている種類の虫までたどり着くことができていた。幼虫が蛹に変化し蛾へ成長した一連の様子を間近で観察し、それを外へ放ちたいとこどもたちが決め、園庭に放った。

【3歳児クラス】畑で見つけたダンゴ虫を捕まえるこどもがいたので「虫かごで育ててみる？」と聞いてみる。「そうしたい」との返答があったので飼育ケースへ入れると、他児も興味をもちはじめ一緒に入れていく。「ダンゴ虫は、どんなものを食べるのかな」と保育者が問いかけると、こどもが「本で調べると」言い、図鑑や絵本を保育者と一緒に見る。ダンゴ虫は湿った土や落ち葉、石などが必要なことが分かると、園庭で保育者と一緒に探し用意する。脱皮やこどもが生まれる様子を観察してきたが、夏あたりに死んでしまう。残念そうにしているこどもたちに保育者が「どうする？」と尋ねると「お墓に入れてあげる」とのことで園庭の裏に埋める経験をする。また、調理員から譲ってもらったカタツムリを3歳児クラスで飼育することとなり、ダンゴ虫とともに育て始める。虫に詳しい調理員に何を食べるか聞いてみると「なんでも食べる」ということを知り、給食で余ったキャベツやニンジン、畑で収穫した野菜をカタツムリにあげる。餌やりや霧吹きをこどもたちが自主的に取り組み、一年間飼育した。また、顕微鏡を使ってカタツムリを観察すると興味をもつ子が多く、カタツムリ以外の物も散歩先で様々観察を始める。こどもたちと相談し、暖かくなった時期にカタツムリを逃がすことになった。どこに逃がすかを聞くと、こどもたちが「〇〇公園がいい」と決め、散歩へでかけながらカタツムリを放つ。



5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

畑をメインで活動していく中で、野菜を育てる以外に虫への興味へと転換していく様子があった。観察しやすい飼育ケースを用意しておくことで、こどもたちはそれで育ててみたいという思いが湧き、虫の飼育が各クラスで始まっていった。生き物を育てる大変さ、育っていく様子を間近で観察することで、どのように変化していくのかを実際に見ることができた。また、生き物を育てるためには何が必要かを調べたり、結果死んでしまったり、成長した虫を自然に返す大切さを学び、生き物の命を知る機会となった。